

JR東海



入社を祝って

国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部
東京都港区新橋5-1-15
交通ビル4階
発行責任者 渡邊良成
編集責任者 高木 宏

入社おめでとう

JR東海に入社した新入社員の方々に、国労東海本部渡邊委員長から入社を祝つてのメッセージです。
国労東海本部と3地本（新幹線・静岡・名古屋）の組合員は、新入社員の研修に合わせ、三島駅前で3回の労働組合の宣伝を行いました。



渡邊委員長

JR東海に入社された新入社員の皆さん、しっかりと自分の足で社会人の一歩を踏み出されたことに心からお喜びを申し上げます。

私たち国労は、多くの尊厳人命を預かる鉄道産業の労働組合として、「輸送の安全」を最大の目標に掲げ行動しています。また、公共交通機関としての「国民の足を守るために頑張っています」。

しかし、労働組合は、決して企業内の自分たちのことばかりやっている訳ではありません。安全で安心できる社会の実現にむけて、原発ゼロを目指す運動や、平和憲法を守る取り組みなどもしっかりと行動しています。

ともに闘おう

一人ひとりでは弱い労働者が、自らの生活と権利を守り、生きていくためにつくったのが労働組合です。「給料がもっと欲しい、働く時間をもっと短く、少しでも長く働き続けるような条件を良くしたい」、こうした素直な労働者の要求を実現するために労働組合はあります。

今、会社には、いくつかの複数の労働組合が存在します。その中で国労という労働組合は、常にたたかう精神を忘れることなく、すべての働くもの立場

三島駅前で宣伝行動

で奮闘してきました。どんな場合でも、労働組合の加入の自由は保障されています。また、どこの組合に入るかも自由です。国労という組織に要

研修センターと三島駅を結ぶ歩道に静岡地本が作成した横断幕「入社おめでとう 国鉄労働組合」を掲げ、新入社員に加入を訴えるグッズ（メモ帳）とピラ・テッシュをセットし配布しました。



新入社員へ宣伝する組合員

求実現の可能性を求めて、ぜひ挑んでください。国労東海本部は、ホームページもあり、是非一度、アクセスしてください。

4月5日は、静岡地本を中心に各地本から組合員が参加しました。配布しながら「入社おめでとう」の声掛けに対し、「ありがとうございます」と応える新入社員は、差し出すピラ等を気持ちよく受け取り、用意したピラは直ぐになくなりました。



新入社員に配布したグッズ

4月12日は、新幹線地本が行動に合わせ「分会組織部長会議」を開催し、その参加者を含め多くの組合員が参加しました。行動は、4月19日まで3回行いましたが12日19日の両日は、ピラの配布こそ少なかったものの「入社おめでとう」「研修お疲れ様」の声掛けに、「ありがとうございます」と応える新入社員たちが多くいました。

今回の宣伝行動は、参加した組合員数は昨年を上回り、新入社員に国労の存在を大きくアピールすることができました。

「がん」の保障 <生きるためのがん保険Days(デイズ)>		「生きる」を創る。Aflac	
保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳。 スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン ◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在) 入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料 払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)	
初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円	35歳	45歳
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円 通院したとき 通院給付金 1日につき 10,000円 手術したとき 手術治療給付金 1回につき 20万円 放射線治療を受けたとき 放射線治療給付金 1回につき 20万円	男性	3,656円
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに1か月 10万円 (すべての保険期間を通じて最大600万円まで) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき 1か月 5万円	女性	3,734円
プレミヤサポート	訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)	55歳	5,360円
◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。		65歳	9,360円
		75歳	6,864円
		85歳	9,048円

パワーハラ根絶目指して、ポスター作製

いびつめはじらつやっ てんてん!

東海本部は、パワーハラスメントの根絶を目指して、啓蒙ポスターを作製しました。

ポスターはB4版、「相談は国労へ」として、電話番号やホームページのURLを掲載したものになっています。



国労東海本部は、メンタルヘルスやパワーハラを職場からなくすことを目標に、JR東海に対して相談窓口の設置や管理者教育をしっかりと行うよう求めてきました。

パワーハラは、80年代以降増え始めたと言われ、現在まで増加傾向にあることから厚生労働省は対策の検討を行ってきました。昨年3月には、職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた提言の取りまとめが出された。

れました。

提言では、「いま、職場で傷つけられている人がいる。暴力、暴言、脅迫や仲間外しといったいじめ行為が行われ、こうした問題に悩む職場が増えている」、「職場のパワーハラスメントの性格として、上司から部下だけでなく、同僚間や部下から上司にも行われるもの」と指摘しています。

働く人の誰もが当事者となり得るものであるとして、「職場のパワーハラスメントをなくしていくために、企業や労働組合は、(中略)組織の取り組みが形だけのものにならないよう、職場の一人ひとりにも、それぞれの立場から取り組むことを求めたい」と行動を示しました。

国労は、以前からパワーハラは、個人の尊厳を大きく傷つけ、鬱病などを発病し、職場環境を悪

要求を持ち寄って 第84回メーデーに参加しよう



昨年の第83回メーデー

化させ、安全にも大きな影響を及ぼす。また、本人も家族も企業にとっても 大きな痛手になるとの事から、根絶を求めています。

たのが最初です。集会では「治安警察法17条(ストライキ等の弾圧) 撤廃、失業の防止、最低賃金制の確立」を決議。8時間労働制、東京市電争議支援、シベリア即時撤兵の動議を可決しました。その後、メーデーは36年の2・26事件で戒厳令が敷かれたのを機に禁止されましたが、戦後の46年に復活。その復活した第17回メーデーには、皇居前広場に50万人が集まり、「民主人民政府の即時樹立」「食える賃金を」などが決議されました。

今年で84回を迎えるメーデー。ところで、メーデーと言いますが、「May Day」から来た言葉です。そもそも労働者の祭典と言われるメーデーについて考えたいと思います。

メーデーのきっかけとなったのは、1886年5月1日、アメリカ合衆国カナダ職能労働組合連盟(後のアメリカ労働総同盟AFL)が8時間労働制を要求して行ったストライキです。

その後も8時間労働制獲得のために闘うAFLから第2インターナショナルの創設大会でゼネストに合わせた国際連帯のデモ要請がなされ、可決され、1890年、第1回の国際メーデーが行われました。

日本では、1920年5月2日、上野公園で5千人が参加し

今、新たに解雇自由の法律を作りだそうとする動きや憲法を改悪して戦争のできる国へと変えようとする動き。国民の暮らしを無視したTPP参加や原発に固執した政治。私たち働く者の周りには多くの要求が渦巻いています。

メーデーは、このような要求実現のためにも労働者にとって重要なものです。

入院、地震、火災、交通事故… 一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかりと組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引渡国保：新東海衛生保険株式会社